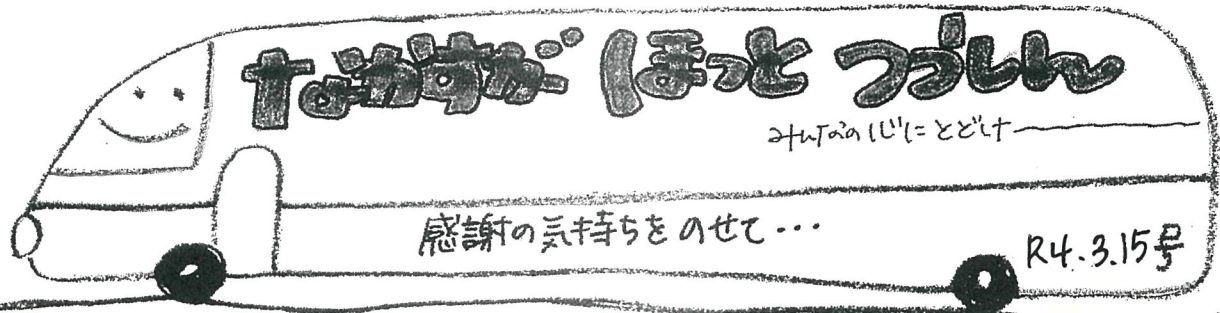
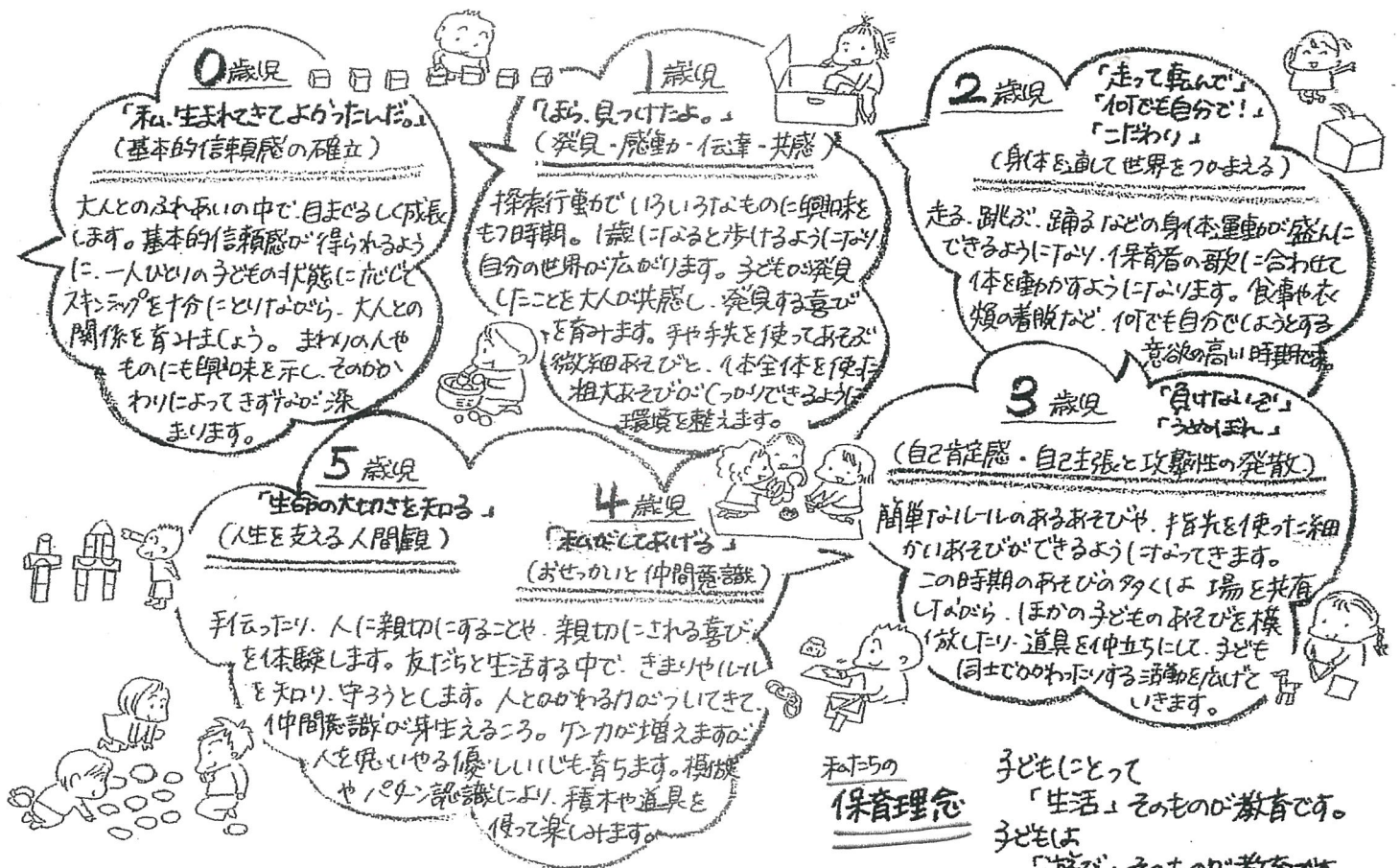


あ、とうい間の1年でした。泣いて、笑って、一緒に喜び合っていたから、みんなが大好きになりました。子どもも大人もです。少しでも子育てのヒントになればと、一方的に思いを発信していたのですが、「ほっとつしん」、最終号となりました。お家の方のドキドキ、ハラハラ、モヤモヤ...少しはスッキリしているでしょうか!? コミュニケーションの大事とわかっているけれど、働くお母さんは何となく忙しいこと!! (仕事と心をくすると書きますが、そうはならないようにしたいですね) ゆったりしていていいけれど、園でのちよつとげたりとや、つながり連絡メールが、親子のコミュニケーションの足りかきとすると嬉しいです。



今回は育ちの頂上をお伝えします。「そうだったよ」「そんなふうにはなかった」という大きな気持ちで見てください。



私たちの保育理念

子どもにとって「生活」そのものが教育です。子どもは「遊び」そのものが教育です。そのことを見つめ、個人の気持ちと発意を考慮しながら「基本的な生活習慣の確立」を目標とし、「遊び」による環境作りと「成長を助ける大人の関わり」を追求していきます。

お互い、周りをよたよたの気持ちでつなぐから
コミュニケーションは「気持ちのいい挨拶」から
元気に(はっぴり) 相手を(見て) 心を(こめて)

お母さんは「気」のつく言葉をいくつあげることができるか?
何と200個以上もあるとか。私たちが意識的・無意識的に関わらず、「気を感じながら、そして「気」を使い合っているから毎日暮らしています。自分の体調や気分にも左右されますが、できる限り気持ちのいい「気」を意識して周りの人々と接していきたいものです。おためて家庭、地域、職場の人々と気持ちよく暮らしていくためのコミュニケーションについて見直してみるのはいいかもしれません。気持ちよく、つなぐ、一人一人の生き生きと自分らしく暮らしていく...。つながりが難しいものです。だからこそ、まずは良い「気」を使った挨拶から始めるのもいいです。ちよつと意識するだけで何かが変わるはず。まずは自分から...。